

第1回経営顧問会議 議事概要

1. 日 時：令和5年3月13日(月) 10:00～11:30

2. 場 所：東京事務所 役員会議室 他

3. 出席者：

経営顧問会議

議長	白石 隆	熊本県立大学 理事長
	小川 尚子	日本経済団体連合会 産業技術本部長
	高橋 泰三	富士通(株) 執行役員
	奈良 由美子	放送大学 教養学部 教授
	堀 義人	グロービス経営大学院 学長
	森口 泰孝	JAEAシニアアドバイザー
欠席	池辺 和弘	電気事業連合会 会長
	大隅 典子	東北大学副学長・大学院医系研究科 教授
	高野 研一	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 附属研究所 顧問
	平野 俊夫	量子科学技術研究開発機構 理事長

原子力機構

	小口 正範	理事長
	板倉 康洋	副理事長
	三浦 信之	理事
	大島 宏之	理事
	大井川 宏之	理事
	舟木 健太郎	理事
	堀内 義規	理事
	渡辺 沖	理事
	熊谷 匡史	監事
欠席	関口 美奈	監事

4. 議 題：

- (1) 開催挨拶
- (2) 原子力機構の取組
- (3) 意見交換
- (4) 閉会挨拶

5. 配布資料：

- 資料 1-1. 原子力機構の経営方針と取組
- 資料 1-2. JAEA における次世代革新炉の社会実装に向けた取組

6. 会議概要：

会議では、理事長から資料 1-1 に基づき、原子力機構の経営方針と取組、大島理事から資料 1-2 に基づき、JAEA における次世代革新炉の社会実装に向けた取組について説明した。これらを受けて、各委員から多角的なご意見及びご指摘を頂いた。

7. 主なご意見及びご指摘：

【社会とのコミュニケーションについて】

- 新しい夢を社会に与えることを徹底的にやってほしい。ワクワクするようなコミュニケーションを常に意識してほしい。
- メリットのみを伝える一面的コミュニケーションだけでなく、デメリットも含めた両面的コミュニケーションが重要である。
- リスクマネジメント、レピュテーションリスクのマネジメントは、これからの原子力政策の基盤になる国民的な信頼を培う上で特に重要な事項であり、しっかりと取り組んでほしい。

【人材育成について】

- 少子化という流れの中で女性の研究者、技術者の活躍が期待される。原子力機構への関心を高める取組を進め、若手の人材確保とあわせて取り組んでほしい。
- 日本原子力文化財団の調査では、若い世代ほど原子力利用に対する積極的な意見が多くなるという結果があり、若い世代への分かりやすい説明が重要である。
- 原子力の便益を受ける半分は女性であり、女性の視点からリスクコミュニケーションでできる人材の育成にも注力いただきたい。
- JAEA の大きな役割の1つである施設の廃止措置は、世界的にみても重要な任務であり、新たな技術開発など若い人たちの興味関心が高まる訴えかけを行ってほしい。

【新しい分野への取組について】

- スタートアップと積極的に連携を進めていくことは、JAEA の意識改革の一助になると考える。

【社会実装の時間軸について】

- 一層志高く、他国に先駆けて高いレベルの技術開発、実装を期待する。高速炉については中露の開発に遅れをとらないよう、国際情勢も踏まえて前倒しで進めていただきたい。
- カーボンニュートラル達成目標である 2050 年まで 27 年しかない。研究開発と社会実装を行っていく上での課題のマッチングを上手く進め、実際の社会実装を想定したコミュニケーションや研究開発の精緻化を進めてほしい。

【職員とのコミュニケーションについて】

- 施設管理については、現場力が無ければ様々なトラブルの原因になる。理事長にリーダーシップを発揮していただき、現場のモチベーションを上げる取組をお願いする。

【戦略的不可欠性について】

- 原子力の問題は1国で解決できないのであれば、戦略的不可欠性が重要となる。日本の技術の中でいかに不可欠性を見出して強化をしていくのかが重要であり、検討し取り組んでほしい。

以上